

都立高校生プレゼンテーションコンテスト

最優秀賞

を受賞しました！

題目：『江戸東京野菜で6次産業化』

～ 内藤唐辛子で広がる瑞穂町との絆 ～

10月29日、工学院大学にて東京都教育委員会主催の「平成29年度高校生言葉の祭典・都立高校生プレゼンテーションコンテスト（決勝）」が開催されました。

このコンテストは、自分（たち）で興味を持ったこと、疑問に思ったこと、不思議に思ったことについて、課題を設定し、調査研究を行い、その成果をまとめ、発表を行います。

先月9月3日に予選があり、17組の中から勝ち上がった4組で決勝戦が行われました。

決勝戦は7分間のプレゼンテーションの他に約4分間の質疑応答があり、テーマ設定の適切さ、研究調査結果などの「内容に関すること」と論理性、根拠の明確さ、表現力（分かりやすさ）、質疑に対する応答などの「発表に関すること」を総合的に審査されます。

結果は、多くの方々の指導助言のおかげで

最優秀賞を受賞することができました。



【 発表生徒の感想 】



今までは3年生と一緒に発表活動を行ってきましたが、今回より2年生のみの発表や質疑応答で、とても緊張しました。

しかし、私が原稿を忘れてしまったときも何の迷いもなくスライドを進めてくれたメンバーのおかげで無事に発表を終えることができて良かったです。

質疑応答の時間は何を質問されるのか全然わからずにいまし

たが、しっかりと答えることができて良かったです。これも忙しい中練習に付き合ってくれた先輩方、先生のおかげだと思います。そして何よりも私たちの活動に参加してくださっている農家さんや加工業者さん、販売・使用してくださっているお店、町の方々のおかげであると思います。

ここまで続けてきて、この結果になったことはとても嬉しいです。今後もこの活動を続けていきたいと思っています。

＜発表者・リーダー・2年＞

発表練習を始めた頃はタイミングよくスライド操作ができなかったのですが、決勝前日までにはピッタリと合わせることができました。でも、多少の不安を持ちながら本番を迎えました。

所々、発表内容とスライドがズレてしまったり、発表者がいつもより早口で発表してしまったりしましたが、無事優勝することができてよかったです。



次回への課題は、もう少し抑揚をつけて何をプレゼンテーションしたいのかを明確にするとともに、タイミングよくスライドを展開して与えられた発表時間を有効に活用することだと思います。

＜発表補助者・2年＞

今回参加してみて思ったことは、すごく緊張感があり、あの中で発表するのは大変だと感じました。うれしく思っていることは最優秀賞を獲れたこと、農業系高校で優勝・準優勝がとれたことの2つです。

決勝で「最優秀賞」。ここに至ることができるのか直前まで分かりませんでした。ただ、コンテスト当日のリーダーの発表を聞いていて、練習時に比べてすごくよくなっていて、やっぱ本番に強いのだなと思いました。ただ、この賞を獲れたのは、忙しい中来てくれた3年生の的確なアドバイス、それに厳しい指導があったからこそとれた賞だと思います。

来年も出て連覇するということなので、来年はリーダーとして「頑張らなくちゃ」と心の中で思っています。結果を聞いた校長先生も喜んでいただけるとお聞きし、期待に応えることができたことを実感しました。

繰り返しになりますが、最優秀賞を獲れて本当によかったです

< 1年生 >